

自由が丘日仏協会

仮称 交流セミナー

(自由が丘パネル・トーク)

趣旨： 他にはない討論の場が狙い (少なくとも第1回トライアルは！)

- 講演会？(パネリストがソコ、テーマ別形式)
- 企画準備会を重要視する
- 参加者の過半がパネリスト
- フランステーマとは限らない
- 協会員・地元人が企画・MC
- 開かれた日仏協会を目指す

準備会：テーマ事例

- 日仏・映画と社会の比較
- フランス語圏のアフリカ
- 日仏国民性の比較論
- オリンピック2020と自由が丘
- シャンソンとフランス人気質
- フランスとEUの経済・社会
- フランスの新聞から見る社会
- エッフェルと宇宙エレベータ
- 自由が丘商業とフランス
-

自由が丘・東京・パリの街並み

自由が丘日仏協会セミナー・第1回（トライアル）

2020 12 06

あおぞら銀行 柳井自由が丘

パネリスト：石川 忠(都市設計アドバイザー)、吉田 喜久雄(都市計画プランナー)

街並み(都市景観) を日本とフランス都市との比較 し、自由が丘で考える。

I部. 「自由が丘の街並み紹介」

P1-8

- 1 自由が丘が Aix-En-Provenceに似ている？（日仏協会の発祥）
- 2 自由が丘の街並み 都市景観大賞・変わらない道並み・中低層商店街
3. 参考 パリクラブ・イベント「ポリテクニクの学生が見た日本写真展」

II部. 「日本(東京) とフランス(パリ)の都市景観の問題

1. 街並みとは A 日本の街並み現状 B 江戸東京の歴史 P9-10

2. 東京・パリ

- ①. 日仏国土景観の違い P11
- ②. 逆説：国民性の違いと逆な都市景観／統一と自由 P12-13
A：それぞれの言い分（評価と気質） B：パリの問題
- ③ 逆説：個人主義と集団主義 P14-15
A. 街並みファーストか建物ファースト？ B. 修復か改造か？
- ③ 都市の修復と改造／合理性と斬新性 P16-18
A. パリの近代まで B. パリで意外な新しい街並み？ C. 伝統修復と新しい街並み（日本）

3.都市の日仏比較論に対する別の見方

我が国の都市の形成（地勢学や人口論等による考え方） -- 吉田

III部. 集約：これからどうなる都市、自由が丘の街並み P19-20



I 部. 自由が丘の街並み紹介

I-①：自由が丘がAix-En-Provenceに似ている？

17年ほど前、エクサンプロバンス副市長一行が自由が丘との友好都市・姉妹都市を打診に訪れた。曰く「自由が丘は我が街-エクスに似たところがある」。*

1999年の年末、行政単位として資格のある目黒区がエクス市に友好都市として招待され、自由が丘商店街の代表や区議会議員団が姉妹都市市場祭に参加。



*自由が丘の細街路に似た小さな道、車の少ない賑やかな広場が魅力

広い並木道のクール・ミラボー

この後自由が丘日仏協会が留学生を送るなど交流が始まった。2002年自由が丘と都市景観のテーマで交流シンポジウムが開かれた。最近は何人かの交流はあるものの休止状態、2013年エクサンプロバンスは熊本市と姉妹都市になっている。

I -①a 自然の中の文化都市・Aix

Aix-En-Provence/人口15万、市域186km²、周囲は自然と産業

Aix中心部：石積み、瓦屋根、大小の通り、街路樹、変わらない景観

街のセンター(商業、住宅、文化行政サービスの集中)

中心から300mは 歩行者の空間



住宅地域の中の商業地・自由が丘

目黒区/人口27万、面積15km²、周囲は住宅地で自由が丘はその中の中心商業地の一つ。

小さなスケールの道路やほぼ商業だけの中心部

模様替え・業態の変化はあるが骨格は変わらず。

駅から300m範囲も、車や鉄道踏切で分断！



共通点と相違点！ →自由が丘について展開

I - ② 自由が丘の街並み 国交省都市景観大賞受賞に見る

■ 審査講評：

東急沿線のお洒落な街として人気の高い自由が丘。その成功の背景に、しっかりした街づくりの継続的な努力の集積があることに驚かされた。70年代からの商店街振興組合による街づくりの取り組みをベースに、10年前からは、加盟商店街に住民も加わって街づくり会社をつくり、その下にできた街並み形成委員会の面々が奮闘し、民の力を結集してユニークな景観まちづくりに取り組んでいるのである。行政もそれに歩調を揃え、企業が応援を借さない。

大改造の手段は一切なく、様々な表情をもつ既存の狭い街路、路地など、その小さな空間の特徴を活かしながら丁寧に誘導、整備し、デザインし直すことで、歩いて楽しい回遊性のある都市空間と、変化に富んだ魅力的景観をつくり上げている。都心の商業空間でありながら心地よい生活感があり、随所に緑とベンチを配して、ゆっくりした時の感覚を楽しむ人々にとっての居場所を生んでいる。従来にない景観づくりの新しい領域を切り開いてきた自由が丘が獲得した質の高い都市空間の集積は、新時代の景観大賞にふさわしいものである。(陣内)



歩行空間を広げてバリアフリー化をはかった駅前広場。シンボルである女神像は移設し、広場内に設置している。



南口緑道(九品仏川緑道)。自転車を追い出すベンチ配置実験から広場化に至った。現在は、集い・憩いの場として多くの方に利用されている。また、通りに開く店構えが増えてきている。

2012年都市景観大賞を受賞

普通は計画的な景観整備のオールド・フックな例や伝統的な街並の保存・修復例が多い中で、地元の継続的努力が認められている。

自由が丘中心部の多くは歩道のない広告物と老朽建物も多い、普通の街である。奨励賞の意味も？



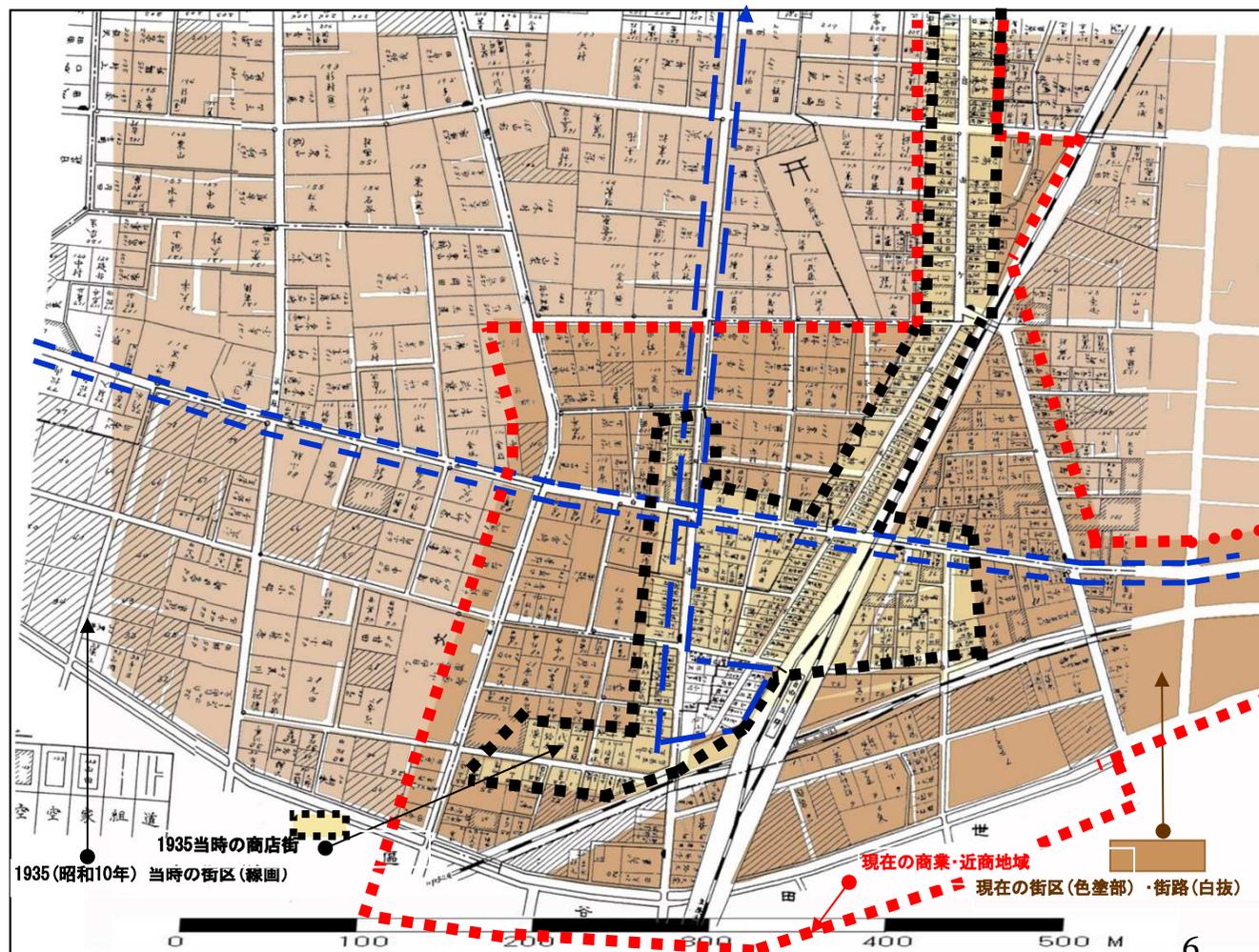
I-②a 自由が丘街並みの特徴 成り立ちと現状

- 街路と区画は75年前と変わっていない。なぜそうなった？ 1か所だけ違うのはどこ？
- 住宅地に囲まれ盛んな商店街なのに、店舗や歩行者用のスペースが不足。
- 商店街は周辺に滲み出し？ スプロール(拡散) or 中心部の再生か、？

街並みの3要素

これらが揃って街並み

1. 道並み(造語)
道幅、歩道、街路樹
2. 家並み
建物ボリュームの並び
3. 軒並み
低層部、壁面線
歩行者目線の家並



I - ②b 自由が丘の街並み 中低層の**家並み**はどうやって出来たの？

●狭い道で建物高さや容積率が制限されているので、小振りの建物（商店）が多くなっている。



マリケール踏切近く



マリケール 駅前



私道



私道

●計画道路沿いは事業決定してないので高い建物が建たない。都計道がなかった場合？



カトリア通り(都計道127号)



女神広場の一部



すすかけ通り (都計道46号)

●これらが自由が丘の特徴をつくっているが、問題も含んでいる。

I-③ 参考

「エコール・ポリテクニク学生達の日本へのまなざし - 写真展」2016/6 パリクラブ

殆どは日本の風景や街並みが、伝統の日本の美と対照的な
現代への驚き(あるいはユーモア)として出展されていた。

フランス人は都市景観をどう見てきたのだろうか。
又、日本人にはフランスの街並みがどう映り、日本の
都市をどのような規準で見てきたのだろうか。



疑問の眼? 下の3組の写真



都心の巨大で奇異なビルに対して
意味不明の歩行者通行禁止 (皮肉な眼?)



アジアの都市でも珍しい電柱
(これでもマシな方か?)



長大な大量通勤電車(metro)と
歩きにくい屋外階段 (対比の眼)

I - ②a エコール・ポリテクニシアンのみなざし - 写真展」 続き



1. 展示の殆どが伝統的空間
2. 地方（自然）に好意を、都市には驚異と揶揄が交錯したフランスの若者の視線。
3. 経済・文化のグローバル化、都市の巨大化が進行する日本で、ローカルな都市環境の自由が丘的なものに眼が行く？

蛇足：日本人から見たパリの景観

「街並の立派さに圧倒されたが、パリは揃いすぎ」と言った建築家の眼！



パリは汚い！と言ったグリーンバードの眼（活動家提供）
かなりの日本人がそういう！日本以外は殆ど？・放置自転車？



車の洪水を救うためレンタル自転車
多く配置したパリ市



パリ右岸の街中を通る運河は、
東京の下町の川に負けない。

推論：街並みに対しては色々な視点がある。自由が丘現状→討論

Ⅱ. 東京とパリの都市景観

1 A ●街並みとは「まちの風流」である。(仮説)

(街並み：今回は主に都市の中心市街地を扱う。)

都市景観は「都市の生活環境快適性＝アメニティ」である

(≡Agrements ≠Animation)

日本の都市景観現状 諸説

① 我国でそれは清潔であるが、比較的乱雑であると言われている。

(石原元都知事の東京「ゲロ」発言…)

●建物の不揃い、電柱・電線、広告の氾濫、放置自転車、バルコニーの洗濯物…

② 統一感がないが、各々の街並に個性が見つけにくく、全国どこでも似た風ともいえる。(〇〇銀座…)

●建物の形態、材質、色彩の非協調性…

(風景記憶性乏しく、新しい物が前より魅力があると限らない)

③ 都市環境に対して社会的コンセンサスが一定でない。

(現状是認論、規制消極論、経済・効率主義…)

●見通しの悪い狭い道路と不足する歩道や公園

1B 歴史：我国都市景観についての歴史的諸見 （事例：江戸・東京）



江戸時代の日本橋辺り：トトリ葺きの密集家並み



戦後東京：朝鮮動乱景気で都市計画のないビルラッシュ

- ① 自然災害、木の文化から堅牢都市概念が希薄
(災害記憶半減期が短く集落都市は建替で対応してきた)。
- ② 農耕中心で稠密都市はなく、車輪交通や道路インフラは最少で事足りた (江戸時代の交通は道路より川が多かった)
- ③ 封建(地方)主義→近代中央集権(廃藩置県)と富国強兵で地方都市整備が二の次。(石川栄耀、後藤新平)
- ④ 先大戦で大都市壊滅、その後の都市復興は「数字的都市計画」で質や美しさは問うていない！(京都・金沢?ドイツは?)



現在のスカイツリーからの景観

2. ①：日仏国土景観の違い／

日本国土は集落で埋め尽くされつつあり、フランスは自然・都市を対比として捉える？ 其々、国土にあった都市は？



(新幹線で田圃は圧巻！・・・人家のない景色は殆どない)

美しい日本国土の景観

①自然風景代表は海岸・水田・里山。都市・農漁村が渾然。

②関東・関西間は列島縦断の集落メガロポリス

日本は狭い？戸建住宅が好き？都市という概念がない？
超高齢化・人口減少期にチャンス。

(集約・安全都市を目指す高松丸亀・夕張市等の試み)

③都市の発生／農産物・製品の集散地としての集落。

- 開放・延伸 (宿場町、城下町等／線状・枝葉上発展)

木造集落は自然災害に対し危弱なのに？

今までの膨張型都市は不適？

美しいフランス地方の景観

①都市は農村の中の「島」、パリはメトロポリス

自然と都市の境目が明確。

②地続きのEUの中で、農業国フランスも含め都市と自然をはっきり分けようとする。

③都市の発生/地続きで、軍事・治安に対する安全
地帯として成立してきた。--防御・集約



(TVGからの車窓では殆どが人家が見えない景色)

都市の自然融合・拡散(日本) と自然対比・集約(フランス)

2-②： 国民性の違いと逆な都市景観／多様な建物で埋まる街の個性がないとされるのは？
 A 其々の評価と言いつ分（日本とヨーロッパの公共性）



現代の大都市風景

海外来日者の印象（日本の街はアナーキー？）

- 一体感がなくて疲れます。もう少し日本の伝統的な建築の要素を現代の建築に反映させればよいと思います。（フランス/30代後半/男性）
- ごちゃごちゃしている。景観をもっと気にして、緑を増やし、建物の高さや色、デザインなどを統一すればいいと思う。（スウェーデン/40代女性）
- いろんな種類の建物が乱立し統一感に欠けると思います。（ドイツ/30代後半/男性）
- 公園などが少ないと思います。（ポーランド/20代後半/女性）



文明開化の伊勢佐木町（のぼり旗、電柱、看板）

日本での景観

（家の前は掃くが、他人の家に口出ししない）

- ちまちま、ごちゃごちゃ、バラバラ・江戸・明治から風流(chic)より賑わい(animation)が好きな国民性？
- 持家の外観は私物＝公共性の考え方の違い／家の前を掃除する
- 「普遍的」なものより「移り変わる」ものに興味を示す国民性？
- 広告好き日本人：①親切心？②格子状・放射円環状でなく、「木の枝状」の道路構造で場所を探しにくい。（自然発生農道、街道から都市道路が骨格）③番地を通り名と番号で呼ばず、ブロックと周回番号で名づけたため、探しにくい。④看板広告収入が容認され、氾濫。

2-② B パリ

自由と平等の気質のフランスで まちの景観は保守的？市内で超高層が出来そうになると、反論が必ず出る。



「エッフェル塔は素晴らしい！」 なぜなら？
今年でも建つことになった超高層ビルで騒然となっているパリ。



「ラ・テファンスはパリ市内より寿命が短い！」
パリジャンはこの景色は好かない。それでもゾーン再開発は盛ん。



●商業地の街灯はパリ市で統一。
個人主義の風土でも、都市に関する行政の方針には協力する。

●煤けたパリを白くし、政策的にも修復し続けている。
それでも、郊外荒廃の改善はあまり効果を見ていないように見える。

2-③ 個人主義と集団主義／

A:フランス都市景観に統一感があり、我が国都市の家並みが揃わないのはなのは？

街並みファーストか？ 建物ファーストか？

我国の中高層建物制限は複雑だが 景観要素が少なく、
規制は時代遅れという意見さえある。

(建築制限の 集団規制／西欧と 単体規制／日本)



- rue petit champs-オスマン道路の一つ
計画道路で削られた三角敷地に合せ、通りに沿った建物で
面を揃える。
- 建物間に隙間の無い家並み！ 合理性？
隣地境壁は共有!! 寄添っていると似たものを建てる？



- 目黒区柳通り。建物面が道路面と関係なく建つ。
我国では、これを問題としない行政・建築家も多い。



- 都市計画に景観要素がない。
- 建物間は隙間だらけ！集めると公園が出来る。

どちらが合理的かは説が分かれる。日本ではビルもマンションも戸建と同じ自由プラン。ヨーロッパは公共物。

2-③：都市の修復と改造 / Paris と 江戸・東京の比較

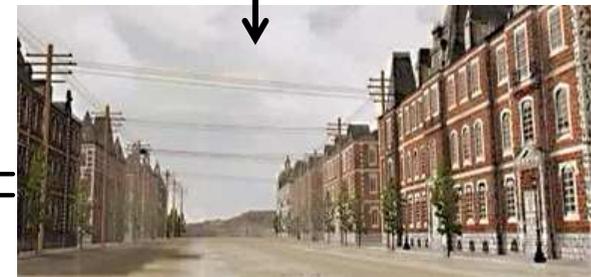
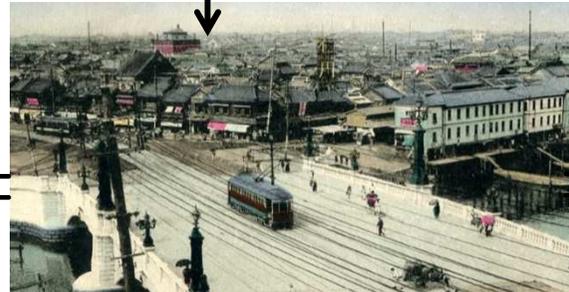
B パリ大改造の修復的側面と建替え好きな日本のまち (合理性 ⇔ 斬新性)



オペラ通りを貫通・上下水・電気の巨大共同溝
1870年代

明治初期の日本橋：左図と同時代(下図/20年前)

江戸時代の丸の内武家屋敷：山本浩三氏再現(下も)



1874年：建物を斜めにも削り,建替えでなく石張りのファサードを修復して整えた。
150年後の現在まで変わらず。

1890年代日本橋：銀座で洋館通りが出来始め

1873年丸の内一丁倫敦 (パリより凄まじい変貌)

恒久的都市←合理主義 (物持ちが良い、けち...) から来るのか?

仮設的都市←経験主義・感覚重視 (宵越し嫌い、新しがり、進取の気性)



●70年後高層ビルと高速道路でこの面影もない。



丸の内 容積率1000% (この努力も希少例)
●変貌を食い止めるため、開発と保存の折衷

2-④：伝統と現代問題／ B パリで家並みの時代を見分ける方法！

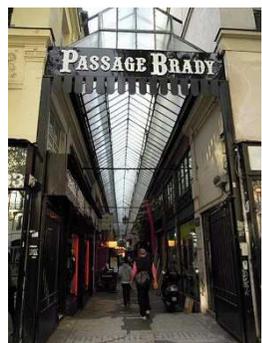
パリ：現在の街並 多様な年代を地区毎にまとめる・・・
「19世紀までの家並みが大半」と見えるパリも色々！



19世紀末建設の街並：シャンゼリゼ（過半がこの時代）
万の商業資本の最盛期で、切り石積み造で近郊石切り場が
枯渇した。上下水・電気・ガスの地下道も全域に建設。



●元祖百貨店のひとつマリアヌ
19c後半から20cにかけて鉄骨・ガラス建物が多く完成。
エッフェル塔だけでなく、アルヌボのメトロ駅等も残っており、
パリ観光客はどこも石造ばかりと勘違いするが、ご注意！



ガロ・ローマ時代を含んだ中世建物
ノートルダム等ルネサンス以前の教会・城館で残る



木造の13-16世紀の家並も散見
漆喰・モルタルで被覆したものも！
ガラス窓はこの時代からあった。



●Marais地区(2区) ●Quartier Latin脇地区(5区)
15-18世紀の石造(ごろた石積みで左官で均したものが多く)。
火災防止のため普及した。当時は下水・電気はない。
保存地区になっている。修復・建替は同じ様式が義務化。



B.パリ近現代の街並 現代建築の宝庫／なぜ目立たない？ 高さをおさえる。地区毎に計画的に開発(工場、操車場、河畔…) など！



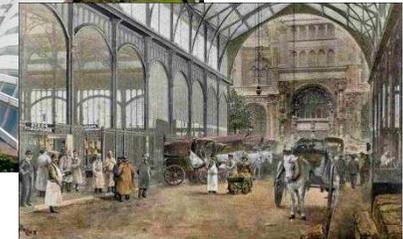
燃え難く、軽く明るい鉄・ガラスの時代。
石への郷愁は強く、ハイリット！



それでも燃える(ファサードと側壁は残る)
側壁は隣家と共有、床を架け街並を残す



市内再開発：Les Halles 地下駅・商業。
旧市場は転用10年の末、1974解体。



LeCorbisierのvoisin計画/1925 デファンス：旧市街につくらなかった。
これぞ「パ」外洋。



郊外の自然
が残る↓

郊外スラムに人工地盤型副都心1970年代



修復活用：Orsay美術館(旧駅)

外観残し内部機能を完全に变える。
超高層ビルの一部に同機能・同様式
で再現する歌舞伎座は日本スタイル。
その他に、市場・植物園を展示場に転用
するVillette公園、Jardin de Plantes
…がある。



1960~70年代のFront de seine地区
ホリム指定コンペ方式で民間開発。



左岸は大学、博物館、病院、国立図書館(↑)を40年かけて整備
対岸のBercy公園や再開発住居地区をつなげるデッキ橋。



Bercyの鉄道用地は住宅、映画博物館の他、広大な将来用地。



セーヌに片足かける長大な財務省を。

C. 日本：伝統と合理性（現代の課題／ 耐火、耐震、高度利用、ヒューマンスケール等 我が国での試み）



我が国伝統の街並みは、数少ないが各地で保存を中心に活発化している。
 (川越例 伝統建造物群保存地区112地区—東京郊)



珍しいケースではあるが明治以降の伝統建物も保存の機運にある(横浜馬車道)



高度利用地区の苦肉の策で日本特有の方法で高層ビルに埋め込む再生・保存
 (丸の内例/他に歌舞伎座など)



普通の街並み整備は困難で、地区協定、地区計画、景観地区など制度はあるが、あまり例を見ない。(横浜元町の雁木型商店街/他に自由が丘「パール街」等)



高層街区でも歩行者視線で低層の店舗や軒並みでヒューマンスケールの感じを出そうする試み(幕張その他)



地区計画等で徐々に街並を整る方法。自由が丘で実施されている。13m高さで軒のラインを揃えて行くという試み。

推論：街並みに対しては色々な視点がある。問題はこれから！→討論

Ⅲ-1. これからどうなる日本の街、自由が丘 ●街並み（道並み、家並み、軒並み）

道並み：狭い道・広い道/歩道・並木 家並み：骨組み・敷地利用/自由 軒並み：高さ・面の揃い/協調

1. 協調建替え・改装の復活 / ルール・事業



女神通り

●共同建替え(再開発・共有・土地保存) / 大中小全て



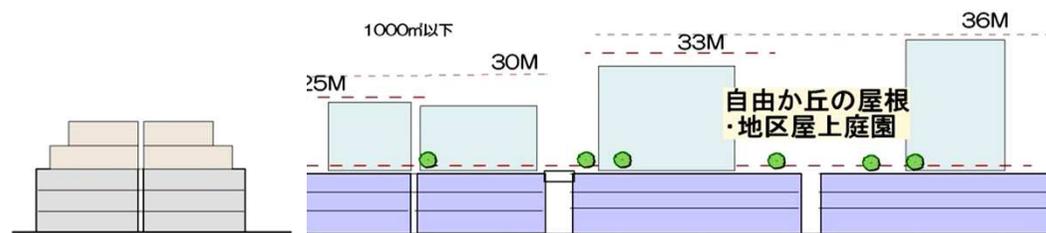
刈ヶ2

2. 路面商業の街には上階にも道・広場を！



狭い地上面の広場空地が無理なら
2,3階に中庭や商店をつくろう！

●地区計画や共同事業で軒並みを揃え、屋上庭園！



南口等400%地区 (360%)
6m道路 立面 現行

同左 6m道路 街並み立面 地区計画案

地区計画案 2007年マスタープラン

南口地区街並み誘導型 地区計画 2014

Ⅲ-2. これからどうする自由が丘

街並みといえるのは 3分の家並み、1分で出発（全て揃わなくてもよいー事例）



現状駅周辺



「道並み・家並み・軒並み」整備

（東横・大井町線地下化、一部都計道 と軒並み誘導型地区計画）による想定図 2007